

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	：十分達成できている
B	：おおむね達成できている
C	：やや不十分である
D	：不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・本校の学校目標である「ふるさと“若木”を愛するたくましい若木っ子の育成」に向けて、本年度の重点目標の最終評価で、すべての重点項目で「おおむね達成」以上の結果であった。 ・基礎学力の向上については、「個別最適」「協動的な学び」を中心としたが、基礎・基本の定着面で個人や学年で差が見られた。今年度は、学校全体で共有しながら個に応じた指導と主体的な学びの充実に向けて授業改善を進めていく。 ・「いじめ」については、積極的にアンケート等を充実しながら、早期発見に努め、昨年度のいじめ認知件数は16件あった。相手のことを考えない言動もまだ見られることから、全教育課程を通してさらに心の教育を充実させていく。 ・創立150周年記念事業の成功で学んだこと等を生かし、今後も地域の方々と連携しながら、「ふるさと若木を愛する児童の育成」を目指した実践を発展・継続させていく。
------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 学校教育目標	ふるさと「若木」を愛するたくましい若木っ子の育成 ～みんなで作る みんなでのびる～ ・子ども、教職員、保護者、地域が一体となって共創していく。 ・協動的活動や切磋琢磨する中で、それぞれが磨き合い伸びていく。
----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 本年度の重点目標	1 個別最適な学び・協動的な学びの一体的な充実を図り、自分で考えることのできる力を伸ばす。 2 互いのよさを認め合うと共に、自己肯定感を高める。 3 元気で健やかな心身を育てる。 4 ふるさと“若木”を愛する豊かな人間性と社会性を育てる。
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
				進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○自ら考え・選び、決め、主体的に行動する自立した学びを育む授業の実践	○「振り返りを生かして、自分で考え、自分で決めながら学びをすすめることができた」と回答する児童の達成率が80%以上	・学びのロードマップを活用して「個別最適な学びと協動的な学びの一体的な充実」を図る授業を行う。 ・自らの学びをつくるための振り返り活動の充実を図る。							(わかる部会) 研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○児童と保護者の学校評価アンケートの心の教育に関する評価において肯定的な評価が90%以上	・平和学習週間や人権集会、ふれあい道徳などの児童の豊かな心を育む教育活動を計画的に行う。 ・ボランティア活動などの奉仕活動を計画的に行う。							(かんしゃ部会) 道徳教育推進教員 人権・同和教育担当
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止に対する学校の取組について保護者の肯定的な意見が90%以上	・心のアンケート等を年2回実施し、いじめの早期発見、早期対応に努める。 ・児童連絡会やケース会議を定期的に行い、職員で共通理解、共通実践を行い常に組織的な対応を行う。							(かんしゃ部会) 教育相談担当
	●◎児童生徒が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒90%以上 ●◎「将来の夢や目標をもち、意欲的に取り組んでいる」について肯定的な回答をした児童80%以上	・学級活動や委員会活動、クラブ活動を計画的に行い、児童の自主性を育むとともに、日常的に児童を褒める機会を設ける。 ・異学年交流を行い、児童の豊かな人間関係を育む。 ・キャリアパスポートを活用し、自分について考えさせる機会を設ける。							(かんしゃ部会) 特別活動主任 キャリア教育担当
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成	●家庭と連携して「早寝、早起き、朝ご飯」を徹底し、よりよい生活リズムが定着していると回答した児童90%以上	・よりよい生活リズムの定着に向けて、食に関する指導や保健指導を児童に行い、また便り等で家庭への啓発を行う。							(きたえる部会) 保健主事 学校栄養職員
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・AIの活用推進や資料の整理整頓を進め、働きやすい職場環境を整える。 ・職員の研修や業務を効率的に行い、休暇取得の時間を確保できるようにする。							教頭
●特別支援教育の充実	○支援を要する児童を含む全ての児童一人ひとりを大切にされた教育活動の実施	○児童連絡会を定期的(週1回)行い、職員全員で児童の情報共有を図る。	・連絡会での共有を日常の声掛けや指導・支援に生かす。 ・必要に応じて積極的にケース会議を行い、外部機関等とも連携しながら組織的に対応する。							特別支援教育CO

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
				進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○	○地域の良さを学び、地域を愛する児童の育成	○「ふるさと若木の良さを感じている」について肯定的な回答をする児童90%以上 ○教育効果を高めるために育友会や地域とのよりよい連携について検討を図る。	・定期的な学校だよりや学級通信等を活用して、情報発信を積極的に実施する。 ・町民小学校合同運動会や地域と連携した活動を通して、学校と育友会、地域が連携を密にしながら郷土愛を育む。							教務

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------